

## 第1回 久留米市野中生涯学習センター指定管理者候補者選定委員会 会議録

日 時：令和元年6月3日（月）14：00～15：00

場 所：えーるピア久留米 212研修室

出席委員：宮原義治委員、藤村やよい委員、境洋子委員、笠一生委員、酒井香委員（全員出席）

### 1 開会

委員及び事務局の紹介を行った。

### 2 議事

#### （1）委員長及び副委員長の互選について

委員長に宮原委員、副委員長に藤村委員を委員の互選により選出し、全委員が承認した。

#### （2）指定管理者募集に係る告示（案）について

#### （3）募集要項（案）及び業務基準書（案）について

以上2件の議事について、業務が重複するため一括して審議することとし、事務局より内容説明を受けた後、以下のとおり審議し、事務局原案通り承認した。

委員 現在の指定管理者はどこか。

事務局 現在の指定管理者は「公益財団法人 久留米文化振興会」である。

委員 続けて同じところにはならないのか。

事務局 再度応募していただくことは可能なので、現在の指定管理者が今回も応募し、選定委員会での審査を経て、結果として現在の指定管理者が選定されることもありうる。

委員 前回は企業からも応募があっているのか。

事務局 前回は4団体から応募があり、文化振興会のほかに民間企業2団体、NPO法人1団体となっている。

委員長 内容としては施設の管理と生涯学習事業の実施になるので、そこを効果的にできる事業者が応募されることになるだろう。また、文化振興会は当該センターに近接するところに事業所や管理する施設を持っているので、地域性や連携という部分からも応募されていると思う。

委員 審査項目ごとに配点の割合が異なっているが、配点の考え方は。

事務局 事務局としては、利用される方々の満足度を高めるための利用促進策やサービス向上等が重要だと考え、「施設の効用を最大限に発揮させるものであること」という項目に高めの配点をしている。また、安定的にサービスが供給されることが絶対的な条件となるため、「管理運営を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること」についても高めの配点としている。

委員 議事録の公表について、実名は出ないということだが、委員には事前に示されるのか。

事務局 事前に委員の皆さんに確認いただくように考えている。

委員 前回の選定が6年前で、今回も6年間の指定になるのか。

事務局 前回は6年前に選定をし、指定期間は5年間だった。今回の指定期間は5年間になる。

委員 5年間というのは決まっているのか。生涯学習センターだけが5年間なのか。

事務局 久留米市では、指定管理の期間は基本的に5年間としている。

#### (4) 指定管理者候補者選定要領(案)について

このことについて事務局より内容説明を受けた後、以下のとおり審議し、原案通り承認した。

- 委員長 最初に2点確認しておきたい。まず、書類審査となる1次審査は要件のみの確認で、提案内容にまでは触れないということによいか。
- 事務局 そのとおりである。
- 委員長 次に、指定管理料について、応募者が上限を下げてくる場合もあると思うが、その場合は評価の対象にはしないのか。設定金額内であれば一緒ということになるのか。
- 事務局 経費の削減という視点も今回の選定の基準に入っているため、まったく関係しないということはない。金銭的な経費の面や事業計画として施設をどう活用していくかなど、総合的に選定することになるので、金額が安くても内容がよくなければ評価が低くなる場合もある。経費の削減が図られ、さらに内容的にも一番いいものを最終的に選定することになる。
- 委員長 入札のように、安いほうに優位な点数をつけるわけではないということによいか。
- 事務局 そのとおり。総合的な判断になる。
- 委員 指定管理者になるにあたり、企業としては利益を上げることが前提になると思うが、どういって利益を生み出すことになるのか。どんなメリットがあるのか。
- 事務局 募集要項に記載のとおり、「利用料金制」を採用しており、利用料金はそのまま指定管理者の収入となる。利用が増えればその分利用料金収入が上がるため、利用促進に向けてどう工夫するか、生涯学習振興事業をどう企画運営し、施設のPRにつなげ、利用を増やすかなど、利用料金を増やしていくための企業努力で収益は上がっていく。また、光熱水費の節減や契約内容による支出の節減などによっても収支が変わってくる。
- 委員 利用料金を上げることはできるのか。
- 事務局 利用料金は条例に定めがあり、その範囲内であれば指定管理者が設定することができるが、その範囲を超える金額の設定はできないことになっている。
- 委員長 事業者がすでに持っているノウハウや人材を施設の管理運営にどう活用できるか、また、生涯学習振興事業の中で参加者から料金を徴収する自主的な事業をどう運営していくか、というようなところが事業者としての収益につながっていくだろうと思う。
- 委員 書面上ではこれだけの人員を配置しますと見せることはできるが、企業としては人件費を削減することが一番効率的に収益を上げることかもしれない。様々な事件が起きている昨今、危機管理や利用者の安全が大事だが、実際にきちんと人員が配置されているかどうかについてはどうやって見抜くのか。
- 事務局 四半期ごとにモニタリングを行い、市が指定した業務がきちんと実施されているか、人員配置がどうなっているか、人件費がどのくらいかかっているかなどについて報告を受けて確認をしている。基準を満たしていない場合には指摘をし、改善を求めていく。

### 3 その他

次回会議について9月上旬に設定し、具体的な日程については事務局から後日連絡することとした。

### 4 閉会